

登録販売者合格講座 ミニ講座

漢方薬に慣れる

防己黄耆湯

(ボウイオウギトウ)

防己黄耆湯（ボウイオウギトウ）

～アフロ先生の解説からピックアップ!!～

- ・体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節痛、むくみ、多汗症、肥満(筋肉に締まりのない、いわゆる水太り)に適すとされています。
- ・構成生薬として、カンゾウを含みます。

次の漢方処方製剤の適用される証・症状と重篤な副作用の記述について、正しいものの組合せはどれか。

	漢方所掌製剤	適用される証・症状	重篤な副作用
a	黄連解毒湯 おうれんげどくとう	体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節痛、むくみ、多汗症、肥満	肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症
b	防已黄耆湯 ぼういおうぎとう	(適用される証・症状)体力中等度以上で、赤ら顔でときにのぼせがあるもののにきび、顔面・頭部の湿疹(しん)・皮膚炎、赤鼻(酒さ)	肝機能障害、間質性肺炎、腸間膜静脈硬化症
c	防風通聖散 ぼうふうつうしょうさん	体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの的高血圧や肥満に伴う動悸(き)・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿(のう)症、湿疹(しん)・皮膚炎、ふきでもの、肥満症	肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症
d	大柴胡湯 だいさいこうとう	体力が充実して脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの胃炎、常習便秘、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛・便秘、神経症、肥満症	肝機能障害、間質性肺炎

1(a, b) 2(a, c) 3(b, c) 4(b, d) 5(c, d)

次の漢方処方製剤の適用される証・症状と重篤な副作用の記述について、正しいものの組合せはどれか。

	漢方所掌製剤	適用される証・症状	重篤な副作用
a	黄連解毒湯 おうれんげどくとう	体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節痛、むくみ、多汗症、肥満	肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症
b	防己黄耆湯 ぼういおうぎとう	(適用される証・症状) 体力中等度以上で、赤ら顔でときにのぼせがあるもののにきび、顔面・頭部の湿疹(しん)・皮膚炎、赤鼻(酒さ)	肝機能障害、間質性肺炎、腸間膜静脈硬化症
c	防風通聖散 ぼうふうつうしょうさん	体力充実して、腹部(腹部) 高血圧や肥満に伴う動悸(き)・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿(のう)症、湿疹(しん)・皮膚炎、ふきでもの、肥満症	肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症
d	大柴胡湯 だいさいこうとう	体力が充実して脇腹からみぞおちあたりにかけて苦しく、便秘の傾向があるものの胃炎、常習便秘、高血圧や肥満に伴う肩こり・頭痛・便秘、神経症、肥満症	肝機能障害、間質性肺炎

防己黄耆湯 ぼういおうぎとう

清上防風湯 せいじょうぼうふうとう

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, c) 4 (b, d) 5 (c, d)